

常任委員会の審議から

環境商工委員会

問 自動車リサイクル法に
基づく破碎業、解体業の許可状況と本格施行後の無許可業者への対応は。

答 許可した解体業者は、
把握総数二七六業者中二七
件、破碎業者は同二〇〇、三
〇業者中一四件と遅れてい
ます。

法に基づき厳正に対処



救急活動の様子

答 平成一七年一月の本格施行後は、無許可業者には解体行為をしないよう指導するなど厳正に対処する。平成一七年一月から、解体業者には再調査も想定される。ほかに、合併に係る住民投票の扱い、競輪事業への対応、自主税財源の充実なども質問

問 土壤汚染の問題もあるので、水道水は問題なく利用できるといったPRを進めめる必要があるのでは。今年は、従来の親子水道教室に加え、水道普及促進活動を鹿行地区で集中的に実施した。今後もPRに取り組んでいきたい。

答 厚生労働省から、センター運営費国庫補助採択の内示があった。発達障害支援センターの状況と役割は、セントラル及び保健所ごとに置かれており、警察も入っている。青少年の健全育成を社会全体として取り組んでいく必要がある。身近な情報を擴んでいる地域ケアシステムがあることで活用について検討していく。

問 横断的に検討している。企業誘致促進のための課税免除の実績とこれに伴う雇用効果は。

答 平成一五年、一六年度の県税の免除法人は二〇九法人、免除額一一億九〇〇万円であり、市町村税(固定資産税)は一九〇法人、二億六一〇〇万円である。

今定例会で可決された主な議案

(議員提出)
茨城県議会委員会条例の一部を改正する条例

(知事提出)
条例の制定

労働組合法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

職員の給与に関する条例及び職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例

茨城県屋外広告物条例及び茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例

茨城県宅地開発事業の適正化に関する条例

市町の廃置分合についてほか四件

する条例を廃止する条例ほか四件

その他

市町の廃置分合についてほか三

問 青年の船事業に見られる「あいさつ・声かけ」は予防策によるところが、今回の水戸市、土浦市における事件に関し、当面の対策について協議を行つた。地域においてコミュニケーションを図ることは、予防策として非常に重要で

答 続き実施していく。地方財政計画において、交付税不足が慢性化している。交付税率の引き上げを働きかけるべきでは。改善のためには、交付税率

あると認識しており、引き続き実施していく。地元自治体の調査の前提との間に相違があり、周辺に大きな影響を及ぼすと考へられる場合に、再調査も想定される。

答 は、再調査も想定される。ほかに、合併に係る住民投票の扱い、競輪事業への対応、自主税財源の充実なども質問

問 児童相談所等は、ひきこもりや不登校等の問題に對し、相談を待つのではなく積極的に地域の中に入つて地域情報を持つ警察との連携も重要な役割。

答 児童・思春期の連絡会議を庁内、精神保健福祉セントラル及び保健所ごとに置かれており、警察も入っている。青少年の健全育成をするため、次の諸対策をより積極的に

答 湖沼水質保全特別措置法の施行から約二〇年が経過しているが、北浦のCOD値(化学的酸素要求量)は環境基準に届くどころか、逆に悪化する傾向にある。

島村宜伸農林水産大臣に意見書を提出する海野県議会議長(農林水産大臣室)

ひきこもりの予防策は

地域のコミュニケーション

総務企画委員会



「茨城県青年の船」研修風景

ひきこもりの予防対策は

保健福祉委員会



日本郵政公社の現行経営形態堅持を求める意見書

政府においては日本郵政公社を民営化するとの基本方針が閣議決定されたが、現在のサービスを最も公平かつ効率的・安定的に提供できるのは、民営化された会社ではなく、国営の郵政公社の形態が適当である。

政府及び国会におかれでは、日本郵政公社が中期的に取り組んでいる改革の推移を見つづ、郵政事業の果たす公共性・社会的役割の重要性に鑑み、郵政事業の三事業一体での現

- 1 公共下水道の整備促進を図ること。
- 2 高度処理型浄化槽の整備促進を図ること。
- 3 北浦の底泥浚渫に係る調査を実施すること。
- 4 霧ヶ浦導水事業の推進及び北浦への導水の具体化を図ること。
- 5 常陸川水門を弾力的に運用すること。
- 6 魚の産卵場所や動物プランクトンの生息場所を造成すること。

意見書

(要旨)

推進されるよう要望する。

1 公共下水道の整備促進を図ること。

2 高度処理型浄化槽の整備促進を図ること。

3 北浦の底泥浚渫に係る調査を実施すること。

4 霧ヶ浦導水事業の推進及び北浦への導水の具体化を図ること。

5 常陸川水門を弾力的に運用すること。

6 魚の産卵場所や動物プランクトンの生息場所を造成すること。